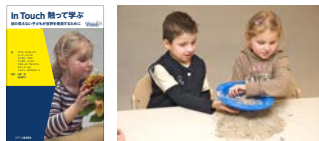


## 幼児期後半から初等教育段階における触空間教材を用いた 触察能力の発達の領域構造と指導



金子書房  
2026/7/17刊行



## はじめに

- なぜ点字は読めても、触図・グラフになると急に難しくなるのか
  - ▶ その背景に「触察能力」という読み書き以前に育てる必要のある発達領域がある
- 「触察能力」とは何か
 

触察能力とは、手指運動を通して位置・方向・距離・形・全体と部分との関係を把握し、それらを統合して空間を理解する能力
- 空間把握における視覚と触覚との違い
 

視 覚： 一目瞭然・全体の同時把握が可能  
触 覚： 継時的に断片情報を取り込み、それを記憶し統合する必要性

## 1 触察能力の基盤形成：具体物操作による触探索・触空間形成

### (1) 触探索

- 触察欲・安心感
- 能動的触知・外界への探索

### (2) 触空間の形成

- 手指操作（押す・引く・両手の使用）と身体座標軸の形成
- 机上面における点・線・面の触空間の形成
- 始点—終点・基準点・両手の協応の形成
- 大きさ/形/長さ/高さの比較・系列・構成・数の比較

## 1 触察能力の基盤形成：具体物操作による触探索・触空間形成

視覚障害教育ブックレット連載中『盲乳幼児・盲重複障害児の思考力をはぐくむ教具』

- 「思考する力は手で見て育つ」 No.53, 10-17, 2023 (佐島毅)
- 「発達・発達段階と触探索の拡大」 No.54, 10-17, 2024 (佐島毅)
- 「意図的行為に基づく触空間の形成・拡大」 No.55, 10-17, 2024 (佐島毅)
- 「触空間の形成における平面・立体の視点と1次元方向のイメージ化」 No.56, 8-15, 2024 (佐島毅)
- 「幼少期の思考の発達と教授法」 No.57, 8-15, 2025 (佐島毅)
- 「弁別学習」 No.59, 8-13, 2025 (佐島毅)
- 「平面構成学習」 No.60, 8-13, 2026 (福田奏子)
- 「立体構成学習」 No.61, 刊行予定 (福田奏子) …つづく

「Think with Hands!」の指導系統図 (PDF) 佐島研究室HP  
<https://office-sashima.org/wp-content/uploads/2024/07/Think-with-Hands指導系統図.pdf>





## 2 二次元触空間の発達段階・学習課題

- ①たどる ……凸線辿り課題
- ②さがす ……凸線迷路課題
- ③全体把握 ……凸線迷路課題・主線辿りマス目課題
- ④閉じた図形・領域
- ⑤分岐・交差
- ⑥図と地
- ⑦全体イメージ ……触図読みとり課題

## 3 空間的視点取得課題

- (1)経路・空間的配置課題：経路・配置の言語化する
- (2)視点取得課題：空間的配置を自己中心的視点から客観的視点へ移行する

## 4 触察力の発達を促す教育実践の本質

- (1)触察教材は難しい教材ではなく、発達段階に応じて系統的に積み上げる教材
- (2)触図学習は触察技能ではなく空間認知を育てる学習
- (3)点字指導と同様に触察能力も系統的カリキュラムが必要
- (4)触察能力は、盲児の認知発達を支える基盤能力であり、幼児期から系統的な育成が必要
- (5)触察能力は、点字や触図学習の前提となる「読み書き以前の基礎能力」